



担い手Report.

いわき市地域担い手育成総合支援協議会
(JAいわき市担い手・集落営農支援センター)

TEL. 28-9107 FAX. 28-9305



Topic1 第2次提言に向けていわき市地域担い手アクションサポート会議

8月21日、午後2時からJAいわき市本店において、第2回いわき市地域担い手アクションサポート会議が開催された。

前回の6月27日の会議においては今年度の会議の時期や前年度の第一次提言に対する協議会の対応について確認し、今回の会議の中で協議会の対応からアクションサポート会議は第二次提言に向けて委員の考えや方向性の確認を行った。

前回の会議の中では自分の集落の中だけではなく、他の集落の意見を聞くことによって、第二次提言に活かせるのではないかという意見があり、今後、集落の座談会があった際は委員が交代で集落の座談会に出席し、話しを聞くかどうか検討することとした。

また、9月12日(金)に第二次提言の参考とするため、福島県新地町「縄文ガーデンファーム」、宮城県名取市「耕谷アグリサービス」の2箇所で視察研修を実施することとなった。



Topic2 小久地区営農改善組合が発足

平成20年8月30日(土)午後7時から、小久集会所において、小久地区営農改善組合の設立総会が開催され、市内で10番目の集落営農組織が誕生した。組合には、小久農事組合員80人のうち69人と地区外から7人の合計76人が加入。

総会では、小久地区の集落営農をめざすプロジェクトチームの代表世話人をつとめている飯島香織さんがあいさつした後組合の規約や役員、農用地利用規程、今年度の事業計画などを全会一致で決定した。

組合は、約40haの農用地を最大限に活用して、南瓜や黒豆等の新規作付けによる農業収入のアップを図るとともに、3人の認定農業者に農用地の利用集積を図り、労力などを補完しながら加工・直売活動を発展させることにより、『みんなで作る小久の農業』を目指している。



Topic3 白岩地区営農改善組合視察研修会

平成20年8月29日(金)、白岩地区営農改善組合が集落内の担い手育成を図るため、茨城県の友部地域集落営農組合と笠間ラインガルテンの視察研修を実施した。

当日の研修は白岩地区営農改善組合員21名、市農業振興課2名、JAいわき市担い手集落営農支援センター2名が参加した。



友部地域集落営農組合の視察では大豆のほ場を見学しながら友部集落営農改善組合の取り組み(大豆の不耕起栽培、防除など)について説明を受け、笠間ラインガルテンでは販売所や滞在施設の見学をした。

